

モニタリングシート（食物栄養学科）

No.	モニタリング項目	データ	データから見る点検結果（概要）	課題	改善へのアクション
1	前年度の向上・改善施策の実施状況（成果・課題・継続事項）はどのような状況か。	・自己点検・評価から見る課題に対する向上・改善施策	前年度の状況を踏まえ、学科FD研修の実施など、学科内での問題意識の共有などを行った。満足度の向上、外国語の運用などに関する習得度の低さ、また2022年度の入学増に対する対応などは、引き続いての対応が必要である。	特になし	昨年度に引き続き、アカデミックハラスメントに関するFD研修会を実施する。
2	経年でみた志願者動向はどのような状況か。	・各種入試結果（入試区分別・高校ランク等）	2020年以降、指定校推薦・公募制推薦における志願者増加がみられる一方で、一般入試（前期）に関しては、過去の志願者に比較し減少している。このような傾向を学科内で共有する。	学科の魅力等の発信は入試広報課と共同して行うが、同時に入試形態別の入学後のGPAの検証などを行い、入学後の満足度の向上、国家試験対策などを充実させ、志願者増につなげる。	入試広報委員を中心に学科の魅力発信を行う。
3	経年でみた新入生の動向はどのような状況か。	・新入生アンケート（第一志望・選択理由・本学への期待等）	本学科を第1希望とする学生は2022年度以降72～73%を占める。また、入学生の70%以上は、資格所得を期待して入学しており、この傾向は、過去3年変わっていない。	本学科への期待について、資格取得に次いで多数を占める「専門的な知識が身につく授業が多い」「幅広い知識・教養が身につく授業が多い」の意見は、2021年度以降、減少傾向にある。この点は、学科内での検証が必要である。	新入生アンケートの結果を踏まえ、今後のニーズの把握に努める。
4	DP・CPと関連したカリキュラムが各学位プログラムレベルで適切に設計されているか。	・カリキュラムマップの状況 ・ALCS学修行動比較調査（経験） ・卒業時アンケート（経験）	カリキュラムマップの状況より、ディプロマポリシーの各項目がカリキュラムに配置されており、体系的な科目編成となっている。引き続き、DP、CPとの関連を意識する。	DPの各項目がカリキュラムに配置されているものの、偏りがみられる。卒業時アンケート結果（2023）より、満足度は、「幅広い知識・教養が身につけられる授業の多さ」「国際感覚が身につく授業の多さ」「語学力が向上する授業・制度」の項目が低い。	今後、学科の改組などを利用して対応する必要がある

No.	モニタリング項目	データ	データから見る点検結果（概要）	課題	改善へのアクション
5	カリキュラム・授業は、適切に運営されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業アンケート ・ALCS 学修行動比較調査（経験） ・卒業時アンケート（経験） ・最低修業年限卒業率 	授業アンケート結果より、カリキュラムが適切に実施されているものと考える。	特になし	特になし
6	DP にもとづく学修成果の到達度の状況。	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェネリックスキル測定テスト（3 回生） ・ALCS 学修行動比較調査（修得度） ・卒業時アンケート（修得度） 	汎用的技能としての外国語の対応が不十分であり、社会性・自律性と関連性がある必修科目や選択科目はあるものの、多くはなく、また、自律性は、関連性をやや有する科目があるのみであることが確認された。	「母語以外の特定の外国語が運用できる」の項目は修得度が低い。そのため、現在、科学英語授業では、到達度調査によるクラス分け、それに伴うクラス数増などの対応を実施してきたが、更なる検討が必要である。	一層の少人数教育の実施に向けた検討を行う。
7	進路・就職及び免許・資格取得状況。	<ul style="list-style-type: none"> ・進路・就職結果データ ・免許・資格取得状況 	進路、就職状況については、特に問題はない。ただし、管理栄養士試験合格率について、2022 年 2 月実施試験の 97.4%から、2023 年 2 月試験の 89.2%に低下した。	管理栄養士国家試験の合格率は、受験者数にも影響する点であり、対策が必要である。	今年度については、卒業研究発表開催時期の前倒し、模擬試験における成績下位学生への対応を重点的にすすめていく。
8	各科目の成績および卒業論文・研究が適切に評価されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・各科目の成績分布 ・卒業論文・研究の判定結果 	成績分布に偏りは生じておらず、問題ない状況といえる。卒業論文・研究に関しても問題ない状況といえる	特になし	特になし
9	職位・年齢のバランス、非常勤比率に留意し、かつ、カリキュラムに基づく教員組織となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・所属教員の状況 ・科目群別非常勤比率 	教員の職位、年齢、性別のバランス、非常勤比率に問題はない。また担当科目と各研究分野が合致した教員組織となっている。	特になし	特になし

No.	モニタリング項目	データ	データから見る点検結果（概要）	課題	改善へのアクション
10	学科個別のFDについて、課題認識および今後の方向性、外部環境を踏まえたFDを実施できているか。	<ul style="list-style-type: none"> FDの取り組み状況 前年度点検シート 自己点検・評価から見る課題に対する向上・改善施策 	2023年3月卒業生の卒業時アンケートにおいて、自分を成長させてくれる教授・先生に出会える、教授・先生が授業の取り組みに熱心であるなどの項目が他学科に比較し満足度が低い。この傾向は2022年卒業生の結果でも同様である。	2023年3月卒業生の卒業時アンケート結果における総合的な満足度に関するフリーコメントでは、好意的なコメントもみられるが、引き続き、問題点を明確にし、満足度の向上をはかる必要がある。	FD研修会として、昨年度に引き続きアカデミックハラスメントをテーマに、大学において、教育する側と教育を受ける側の関係性の理解と対応をはいかにあるべきかについて学ぶ機会を2024年9月、または3月に計画している。
11	上記以外で「継続すること」「課題」「次へのアクション」「全学レベルで検討すべき事項(提案)」があれば入力	<ul style="list-style-type: none"> 各種データ 	特になし	特になし	特になし